



6月

学校だより

令和4年5月31日
横浜市立八景小学校
〒236-0021
横浜市金沢区泥亀1-21-2
TEL 045-781-2434
校長 中川 琴似

近所のウグイス

学校長 中川 琴似



八景小学校の学区ではないのですが、平潟湾沿いに住んでいます。近くに金龍禅院というお寺があり、こんもりと木が茂った小山があります。ここに「九覧亭」という展望台きゅうらんていがあったそうです。横浜市教育委員会の現地案内板によれば「九覧亭は能見台からの眺望の衰退により江戸後期にここ金龍禅院に新しく設けられた展望台」で、野島・平潟湾・瀬戸橋などの金沢お馴染みの八景+富士山が見えることで「九覧」だそうです。

この小山にウグイスがおり、(同じ鳥だと思のですが)毎年春になると鳴き声が聞こえます。まだ修行中のように数年前から「ホケピ?」とか「ホゲピ」[↑]と聞き取れるような鳴き方でした。子どもたちに朝会でウグイスのこの鳴き声を紹介しました。オスだけの鳴き方で自分の存在と縄張りを他のウグイスに示す、人間で言えば「挨拶」のようなものです。人間以外の生き物も練習してメッセージを仲間にするのですね、と話しました。その後、九覧亭のウグイスも上達してきて「ホーホゲツキョ」と聞こえるようになり、次の朝会で経過報告をしました。

さて、5月から6月、学校では「まち探検」や学年での遠足が始まりました。雨で延期になりましたが、全校の「なかよし遠足」、泊を伴う「宿泊体験学習」も行われます。こうした校外学習は普段はできない体験をしたり、いろいろな方と出会ったりする場です。そのような場を作るためにたくさんの準備があることは、「集会」を企画したり「なかよし遠足」に向けて計画を進めたりしている高学年の子どもたちは自身のことと重ねて理解すると思います。また、そんな上級生を目にしている下の学年の児童も肌で感じ取れる部分もあるのではないのでしょうか。「人は人から学ぶ」というのは、「知識」として得るものだけでなく、その人ならではの「持ち味」を「わかる」もっと未分化な「何か」を含むように思えます。

先日、八景小学校の第1回学校運営協議会が開催されました。その中で「心はひとつ 八景小!」が多様性を認めることと異なり、「統一的」な印象をもたれてしまうのでは、というご指摘をいただきました。確かに丁寧に説明しなくては、と思いました。一人ひとり様々な違いがあるからこそ、理解し合うこと、心を寄せて「ひとつ」になろうとすることが大切になります。少し前のラグビー代表の「ワンチーム」と一緒です。学校目標は、続く「自分らしさを発揮し、認め合い、思い合い、豊かに生きることができるようになります」があつての「心はひとつ」であることを、子どもたちに広めていきたいです。